

## 県央ブロックごみ処理施設整備候補地 第1回住民説明会の開催結果

- 1 開催日時 平成29年7月11日（火） 18時30分から20時00分
- 2 開催場所 堀越自治公民館
- 3 出席者
  - (1) 住民 21名
  - (2) 報道機関 1社
  - (3) 協議会 9名（菅原事務局長，櫻次長，森田主幹，畠山副主幹，高橋室長，佐藤主査，高橋主査，木村主任，日本環境衛生センター[速水氏]）
- 4 会議概要
  - (1) 開会  
櫻次長により開会及び司会進行
  - (2) あいさつ  
菅原事務局長からあいさつ
  - (3) 説明  
高橋室長から「県央ブロックごみ処理施設の整備について」を説明
  - (4) 質疑（質問者8名，質問・意見数27件）

発言者・回答者	発言内容
① A	① 1 ごみの減量化，資源化は大事なことである。都南地域は生ごみも分別しており，分別の点では他の地域よりも進んでいると思うが，焼却施設を造るに当たり，分別，減量のことはどう考えているのか。
→森田主幹	① 1 8市町それぞれの減量化，資源化の計画に基づき，連携しながら取り組んでいきたい。
② A (手代森)	② 2 子供たちの健康，赤十字病院，介護施設があり不安に思う。大きい施設だと，もし事故が起きた場合には不安であり，安全・安心の面からは不安である。 なぜ，コストだけで判断して広域化をする必要があるのか。
→高橋室長	② 2 環境基準とそれを守るための排出基準が国で定められており，新施設ではそれをさらに上回る基準を設けて不安を取り除いてい

	きたい。また、広域化については人口減と施設の老朽化のため、コストや環境負荷の面から、6施設を1施設に集約することで進めている。
③ B	③ここの地域の近くには民間の焼却施設が2つあるが、そこの兼ね合いはどうなるのか。
→森田主幹	③直接的な関わりはないが、それぞれの施設が適正な処理が行われるような環境基準が守られるだろうと考えている。
④ C	④整備候補地の具体的な場所はどの辺なのか。
→高橋室長	④都南工業団地の北東部を想定している。具体的な位置は皆様との協議で決めていきたい。
⑤ D	⑤説明会を2回開催して決めたいということだが、具体的な事案が無いと決められないのではないか。
→高橋室長	⑤2回の説明会で決めるのではなく、何度も説明会を行って途中で場所を決めていきたい。
D	⑥今年度中に決定しようとするのであれば決定までの時間が短いことが心配である。 ⑦ほかの場所の選定経緯はどうであったのか。 ⑧盛岡市に建設することとした決定の経緯がわからない。
→森田主幹	⑥説明が足りない場合については、地域の皆様に御理解をいただけるよう説明する機会を繰り返し設けたい。 ⑦検討委員会の中で、最もごみ焼却施設の立地に相応しい場所を設定してきた。 ⑧人口が多くごみが多く出る場所であり、8市町で中央に位置する地理的な要件があったため、その中で基本構想策定の段階で盛岡市に建設すると想定されたため。
D	⑨最終的に1か所を決める際の要件は何か。
→高橋室長	⑨住民に御説明をし、御理解を得られる場所を考えたい。
D	⑩住民合意がとれたら決定としていいのか。
→高橋室長	⑩最終的には各市町の首長で構成される協議会で決定されるが、一番重要な要素は住民への理解である。
D	⑪住民合意といっても、候補地によっては住民数の違い、分母がそもそも違う所も出てくると思う。
→森田主幹	⑪一律にこの数が同意すれば決定、というわけではない。今の段

	<p>階では、説明会を実施し住民の方に御理解・御協力をいただけるように時間をかけていきたい。</p>
D	<p>12 合意を得るためには、対象となる世帯がどこの範囲なのか。半径何メートルの範囲なのか。または、搬入ルートによっても対象となるエリアが違って来るだろうから、そういう部分を想定した話をしてもらわないと判断できない。</p> <p>今回の内容だけでは不明な部分が多い。</p>
→森田主幹	<p>12 説明会の範囲としては、想定される立地場所から半径 500 メートル以内の地域を対象に説明を行っているところである。これは平成 15 年の県からの通知が基になっている。また、収集車両の搬入ルートに居住する住民の説明会については、地域の方からの要望を受けて説明する機会を設けていきたい。</p>
D	<p>13 焼却施設を造ることについては、市として総合的なものと考えているのか。</p>
→森田主幹	<p>13 最新の設備を導入し、環境への影響の低減を計っていきたい。また、熱エネルギーの活用を含めた総合的な地域振興についても平行して考えていきたい。次回の説明会では地域振興策について、他都市の事例等を交えながら細かく説明を予定している。</p>
D	<p>14 2 回目の説明会で予定している地域振興の話は、地域によって違ってくると思うが、説明の内容は「一般論」の話になるのか、「地域限定」の話になるのか、そこがオープンにならなければ判断できない。</p>
→森田主幹	<p>14 一般論の説明も考えているが、地域の方との対話を通じて、地域ごとにどういった地域振興策があるか考えていきたい。</p>
⑥ E	<p>15 広域化における環境負荷のメリットに「有害物質の低減が図られる」と書いてあるが、有害物質は出るのか。</p>
→高橋室長	<p>15 有害物質が出るのは事実である。ただし、国で定めた排出基準をさらに下回る排出基準を設けていきたい。</p>
E	<p>16 臭気対策として、し尿処理施設が来ると風向によっては悪臭が発生するのではないか。</p>
→森田主幹	<p>16 今回の対象はあくまで焼却施設で、し尿の施設は併設しない。そのうえで、臭気対策については、外部に臭気が漏れないようエアカーテンの設置等を進めて万全を期したい。</p>

A	<p>17 他の都市では施設を手入れして 30 年くらい使うが、資料を見ると盛岡のクリーンセンターは 19 年しか経過していないのに建替えるのか。</p> <p>18 ブロック内の既存施設の中で、どの施設が老朽しているのか。</p> <p>19 整備候補地を 4 か所に絞ったとはいえ、このまま既存の施設を活用して政策を進めたほうが良いのではないか。</p>
→高橋室長	<p>17 平成 41 年の稼働を考えている。それまでは既存の 6 施設は延命化して稼働させる予定である。</p> <p>18・19 耐用年数は平均的には 20～25 年、30 年以上使うこともある。クリーンセンター、葛巻町、岩手町、八幡平市…八幡平市は（平成 41 年時点で）30 年以上超過ことになる。長く使えば基幹工事長寿命化として相当費用がかかる。</p>
D	<p>20 資料 8 ページの地図の縮尺がどのくらいかは不明であるが、住民合意の対象を 500m 以内の範囲だとすると、本日参加の住民のほとんどが対象外となってしまう。 誘致があった候補地が有利になるのではないか。</p>
→高橋室長 →森田主幹	<p>20 説明会を繰り返しながら住民合意を判断していきたい。 最終候補地 4 箇所はいずれも整備予定地としてふさわしい場所なので、現時点では均等に説明をし、内容について御理解いただきたい。</p>
⑦ F	<p>21 第 2 回説明会の開催時期はいつ頃か。9 月くらいだと時間が無いだろうし、農業の多忙期と重なってしまう。</p>
→高橋室長	<p>21 2 回目については相談した上でなるべく早めに実施したい。</p>
F	<p>22 説明会の時期が長くなれば、決まるまでの時間も後ろにずれてしまうことになる。</p>
→高橋室長	<p>22 住民の方と事務局側が話し合いを重ねながら、同じ目標に向かえるような形になるには回を重ねる必要がある。</p>
A	<p>23 （要望）資料 11 ページの耐用年数がきているのは、八幡平市なのか。そのような状況であれば、古くなった部分だけ修理したほうがいいし、住民の不安も解消される。</p>
→森田主幹	<p>23 8 市町それぞれの焼却施設で経過年数がばらつきがあり、ぎりぎりまで使えるかを検討する中で、平成 40 年度までは既存の 6 施設の延命化を図り、平成 41 年度には 1 施設に集約することとした。</p>

D	<p>24 今後のタイムスケジュールについて、猶予はどのくらいあるのか。</p> <p>25 説明会の議事録は公表されるのか。</p>
→森田主幹	<p>24 地域の方々との話し合いが先ずは最優先。出来るだけスケジュール調整を行い、話し合いを重ねていく。打ち切りということはせず、地域の方の納得のいくまで説明をしていきたい。</p> <p>25 議事録は公開する。</p>
D	<p>26 説明会の資料は事前にいただきたい。</p>
→森田主幹	<p>26 今後の説明会に向けて参考にする。なるべくそのような格好が取れないか事務局として検討していきたい。</p>
⑧ G	<p>27 4か所どこに建設したとしても、次の更新について考えていくと思うが、その場合、更地にして戻したりするものか。</p>
→森田主幹	<p>27 予め地域の方と将来に向けて取り決めをしていかなければならない。そういった部分も含めて地域の方と合意していくべき内容だ。</p>

20 : 00 終了